



みなみの風



2年生 かるた大会

令和6年
1月11日
発行者：学校長



明けましておめでとうございます



昨年中はいつも温かく支えてくださり、ありがとうございました。
 昨年は、教室配置を変更し、ふれあいの日常化を推進しようと皆で努めてきました。
 また、生活科や総合的な学習を中心に、未来を切りひらく課題解決力の育成に励んできました。
 今年も、目標に向かい、皆で前に進んでいる進行感を楽しみながら、生き生きわくわくの充実した毎日になるようにチャレンジを続けていきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

総合的な学習 6年3組

6年3組の総合のテーマは「神奈川県といえば開成町でしょ!」です。子どもたちは「開成町をPRしたい」と考え、「餃子屋ヒロ」さんに協力をお願いしました。自分たちの案をもとに開成町らしい餃子を作っていたいただき、12月5日からお店で販売していただいています(3月31日までの限定販売)。

子どもたちの考えは次のとおりです。「開成町といえばあじさい。あじさいの花の形をした餃子はどうか。それを4つ並べればよりあじさいのように見えるのでは!葉っぱもあつた方がいい!あじさいといえば紫、ピンク、水色、その色をソースで表してみよう!」子どもたちのアイデアをヒロさんが形にし、「かいせいあじさいコーン餃子」として完成させてくださいました。「あじさいちゃん、しいがしくん」の使用許可を町に取り、それぞれが描いた旗(ピック)もつけています。

子どもたちは、校内の仲間にもこの活動をPRする「校内PR班」、絵や文章で餃子の魅力を伝える「ちらし班」、「ポスター班」、お店に来たお客さんにこの餃子をポップやメニュー表で知らせる「店内PR班」、HPやSNSでより多くの人にPRする「動画班」に分かれて、それぞれの思いを発信しています。

なお、6年3組の「この餃子を学校の皆にも給食で食べてもらいたい」という願いを実現できるように今準備中です。

ご多用の中、多大なるご協力をいただいております「餃子屋ヒロ」さんには、感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます。

社会科 4年生 12/15(金)

4年生が社会科「地域で受け継がれてきたもの」の学習で、開成町阿波おどりを学びました。

講師は、開成町阿波おどり連協会前会長で上島紫粋連連長の井上さん、紫粋連の湯川さんご夫妻、鶴田さん、日部さんです。

まずは、阿波おどりの歴史や魅力や楽器の紹介などをしていただきました。そして、実際に鳴り物(楽器)や踊りの指導をしていただき、最後は皆で楽しく踊りました。

子どもたちは次のような感想をもちました。「皆さんのおかげで人生で初めての楽しい経験となった。大だいこをたたいてみんなとテンポを合わせられ、嬉しかったし、楽しかった。」「阿波おどりを踊って、かけ声を合わせたり、楽器の音が響いてきたりするのがとても良かった。他の人にも伝えたい。」「今まで受け継がれてきたのをつないでいきたいと思った。」「はじめは阿波おどりに入ってみたいという気持ちはなかったけど、みんなで踊った後に入ってみたいと思った。」「阿波おどりはみんなが楽しめるのですごくいいなと思った。最初は恥ずかしかったけどやってみると楽しかった。」

開成町でなぜ阿波おどりが始まったのか、これまで続いている魅力は何か、など楽しく体験しながら、しっかりと学ぶことができました。

ご協力いただきました紫粋連の皆様、ありがとうございました。



生活科 1年生 12/18(月)~20(水)

1年2組、3組、4組が生活科「わくわく交流会」で、開成幼稚園の年長さんと交流しました。

(*1年1組は酒田みなみの保育園と交流)

2組は18日にさくら組と、3組は19日にばら組と4組は20日にれんげ組との交流です。クラスごとに交流の内容は変わりましたが、まず校庭の芝生ゾーンで一緒におにごっこをしたり、遊具で遊んだりしました。その後、2、4組は1年生を教室に案内し、席に座ってランドセルを背負うなどの「1年生体験」してもらいました。3組は多目的ホールで1年生と年長さんがペアになり、「まつり」を一緒に楽しみました。

優しく声をかけ合い、一緒に過ごす姿はとても微笑ましかったです。お互いにとってすてきな時間となりました。

1月に2回目の交流会を行う予定です。1回目の学びを生かし、さらにわくわくできるような交流となると嬉しいです。



国際交流会 5年生 12/13(水)

5年生が東海大学の留学生と国際交流会を実施しました。東海大学からは9名の留学生(デンマーク、韓国、タイ、スウェーデン、アイスランド)と担当の先生が来校されました。

3校時は、それぞれの学級に3名の留学生が入り、自国の言語、文化、環境、食事などを紹介してくれました。子どもたちは「きれい!行ってみたい!」「おいそう!食べてみたい!」などつつぶやきながら説明を聞き入っていました。また、「敬語はないけど、尊敬し合っている。」「給食の55%は税金なんだ。」など、日本との違いに関心を示していました。

4校時は、多目的ホールで全員で林間学校で実施したキャンプファイヤーの内容をアレンジした出し物やゲームを楽しみました。

今年は給食も一緒に食べました。

休憩時間には、それぞれの国のことや好きなことを話している姿もあり、貴重な交流の機会となりました。

企画してくださった開成町教育委員会の皆様、ありがとうございました。



人権朝会 12/5(火)

人権をテーマにした今回の朝会。『すきなこと にがてなこと』という絵本の読み聞かせを行いました。「人にはそれぞれ得意なことと苦手なことがあり、みんなで助け合って過ごせるとよい」というお話です。

朝会の後は、各クラスでこのことについての意見交換が行われています。6年生の教室では次のような感想交流が行われていました。

「人の苦手な所を他の人の得意なことで補うとよい!」「助け合っていいな。苦手なことを好きなことで補い合える!」「自分の苦手な所は〇〇さんに助けてもらえばいい。そういうつながりが大切!」「人の苦手な所をつつきに行くのではなく、補い、伸ばしていけば絆が深まる!」「人それぞれ。ぼくは算数と運動が苦手。そこは人に教えてもらうと仲も深まる。輪が広がる!」

それぞれ得意なこと、苦手なことがあります。まるでパズルの「でっこみ」と「ひっこみ」がうまく合わさるように、「すること」や「されること」が豊かに交換し合い、輪がつながり、広がり、強くなるとよいなと思います。そんなあったかい学級、学校にしていきたいと改めて思いました。



社会科 3年生 12/6(水)

3年生が社会科「地域の安全を守る人々」の学習で、南足柄市怒田にある小田原市消防本部 足柄消防署に見学に出かけました。

消防署の中を見学し、119番のしくみや消防署の仕事や働いている方の思いなどを学ぶことができました。また、消防車や救急車の中や装備品なども見せていただきました。見学中に実際に出勤要請が入り、救急車に乗ってすぐに出動する救急隊員の姿を見ることもできました。

「消防士さんが46秒で防火服を着るのがすごい!」「火を消すためにたくさんのホースを使っていることを知った!」「人のためにトレーニングをしていて、すごい!」「火事を出さないように気をつける。」などの感想を子どもたちはもちました。

足柄消防署の皆様、ご多用の中、熱心なご指導ありがとうございました。

*今回も町のバスとワゴン車で送迎していただいています。町のご厚意大変ありがたいです。

